

四半期毎の自動車不具合情報の集計結果について（平成25年度第3四半期）

国土交通省では、自動車等のリコールの迅速な実施及びリコールに係る不正防止のため、四半期毎に自動車製作者や自動車輸入者から自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報等の報告を求めています。

また、毎日、自動車ユーザーの皆様から自動車不具合情報ホットラインを通じて自動車に係る不具合情報を収集し、同じくリコール業務に活用しております。

四半期毎の自動車不具合情報の集計結果（平成25年度第3四半期）について公表します。

集計結果は自動車製作者等や自動車ユーザーからの情報によるもので、国土交通省としてその内容のすべてを確認しているものではありません。

なお、自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報は、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、国土交通省のホームページで個々の事故・火災情報を検索することができます。（重大な事故・火災情報は随時更新、その他の事故・火災情報は四半期毎の更新）

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rci/cgi-bin/search.cgi>

さらに、自動車不具合情報ホットラインにお寄せいただいた個々の不具合情報については、同種・類似の不具合情報を提供していただくこと等を目的として以下の国土交通省のホームページで検索することができます。（毎月更新）

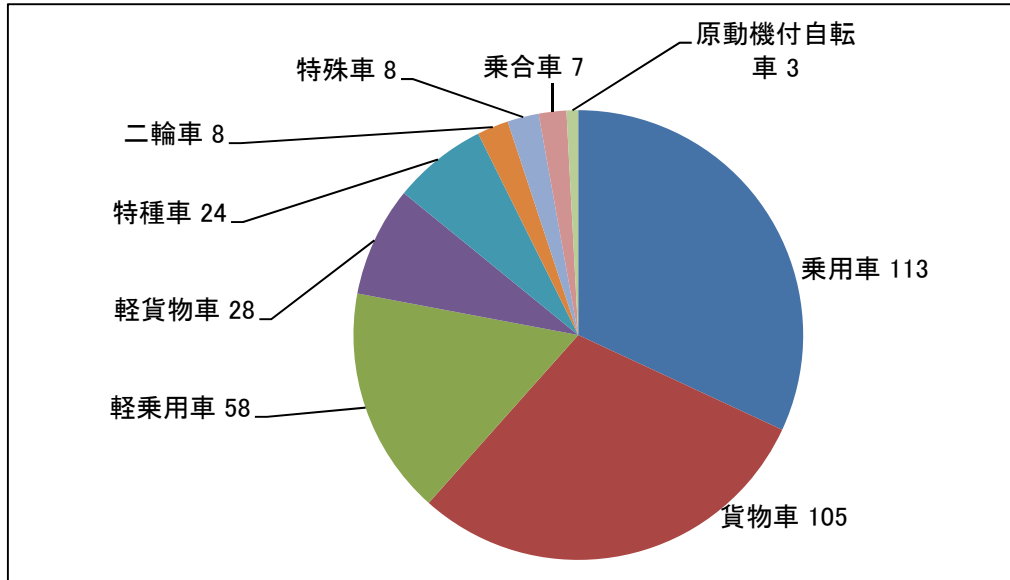
<http://carinf.mlit.go.jp/jidosha/carinf/opn/index.html>

自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報（自動車製作者等からの報告）

自動車製作者等から新たに報告のあった、事故・火災情報の総数は、354件でした。

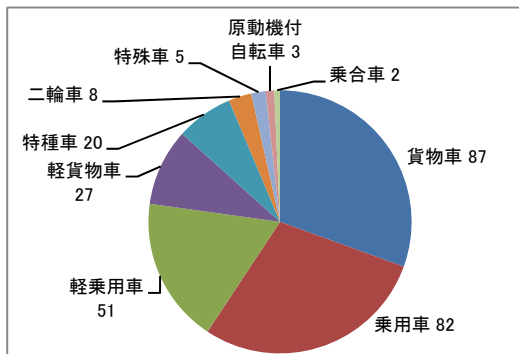
[1]用途別件数

事故・火災



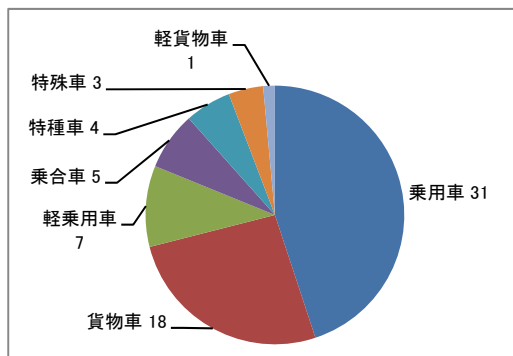
用途	乗用車	貨物車	軽乗用車	軽貨物車	特種車	二輪車	特殊車	乗合車	原動機付自転車	総数
件数	113	105	58	28	24	8	8	7	3	354

火災



用途	件数
貨物車	87
乗用車	82
軽乗用車	51
軽貨物車	27
特種車	20
二輪車	8
特殊車	5
原動機付自転車	3
乗合車	2
総数	285

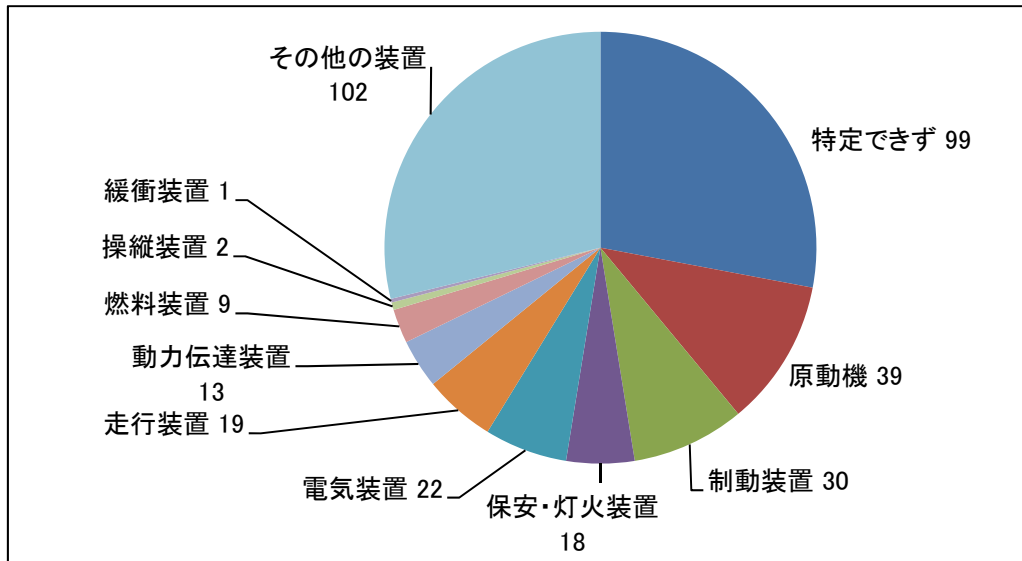
事故



用途	件数
乗用車	31
貨物車	18
軽乗用車	7
乗合車	5
特種車	4
特殊車	3
軽貨物車	1
二輪車	0
原動機付自転車	0
総数	69

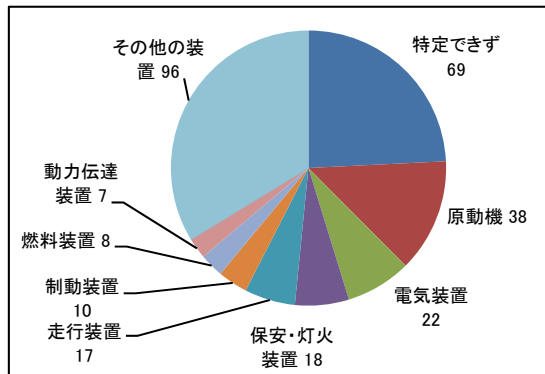
[2] 装置別件数

事故・火災



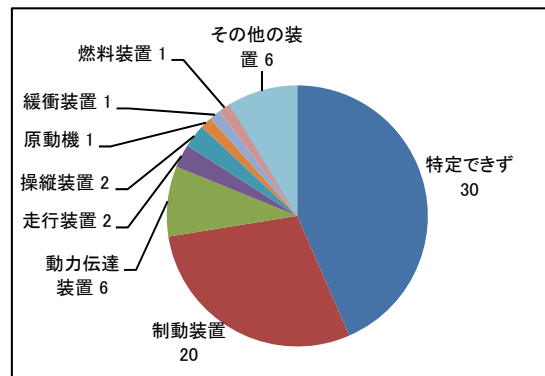
装置名	特定できず	原動機	制動装置	保安・灯火装置	電気装置	走行装置	動力伝達装置	燃料装置	操縦装置	緩衝装置	その他の装置	総数
件数	99	39	30	18	22	19	13	9	2	1	102	354

火災



装置名	件数
特定の装置	69
原動機	38
電気装置	22
保安・灯火装置	18
走行装置	17
制動装置	10
燃料装置	8
動力伝達装置	7
操縦装置	0
緩衝装置	0
その他の装置	96
総数	285

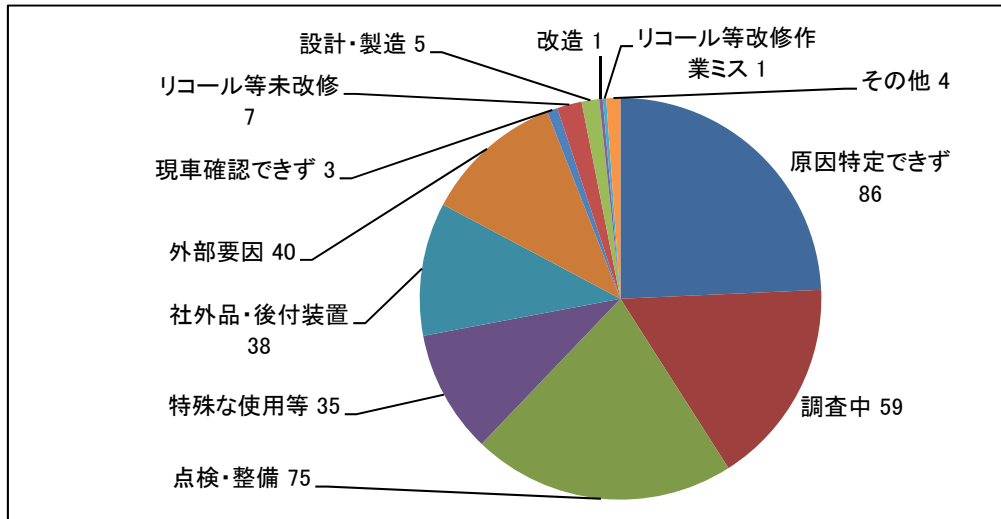
事故



装置名	件数
特定の装置	30
制動装置	20
動力伝達装置	6
走行装置	2
操縦装置	2
原動機	1
緩衝装置	1
燃料装置	1
電気装置	0
保安・灯火装置	0
その他の装置	6
総数	69

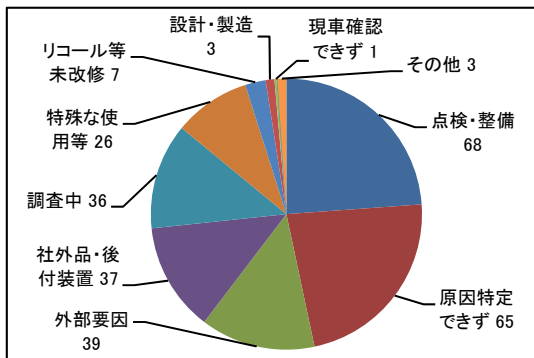
[3] 原因別件数

事故・火災



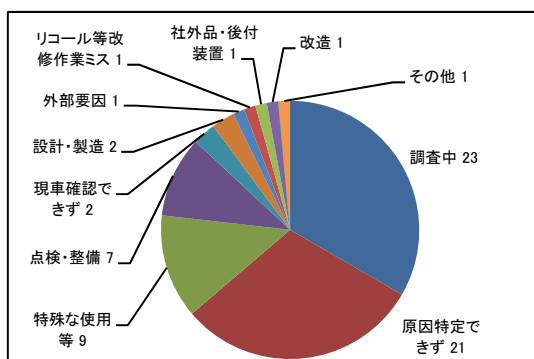
原因名	原因特定できず	調査中	点検・整備	特殊な使用等	社外品・後付装置	外部要因	現車確認できず	リコール等未改修	リコール等改修作業ミス	設計・製造	改造	その他	総数
件数	86	59	75	35	38	40	3	7	1	5	1	4	354

火災



原因名	件数
点検・整備	68
原因特定できず	65
外部要因	39
社外品・後付装置	37
調査中	36
特殊な使用等	26
リコール等未改修	7
設計・製造	3
現車確認できず	1
改造	0
リコール等改修作業ミス	0
その他	3
総数	285

事故

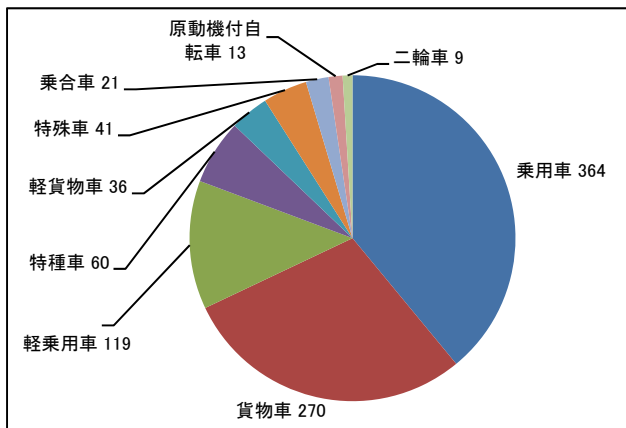


原因名	件数
調査中	23
原因特定できず	21
特殊な使用等	9
点検・整備	7
現車確認できず	2
設計・製造	2
外部要因	1
リコール等改修作業ミス	1
社外品・後付装置	1
改造	1
リコール等未改修	0
その他	1
総数	69

自動車の不具合情報（自動車製作者等からの報告）

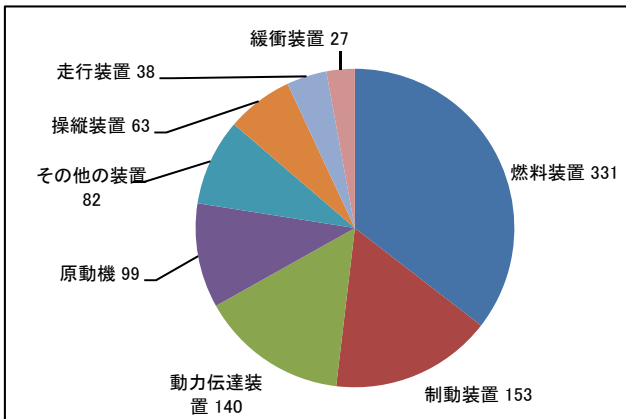
自動車製作者等から新たに報告のあった不具合情報（事故・火災情報として報告されたものを除く。）の総数は933件でした。

[1] 用途別件数



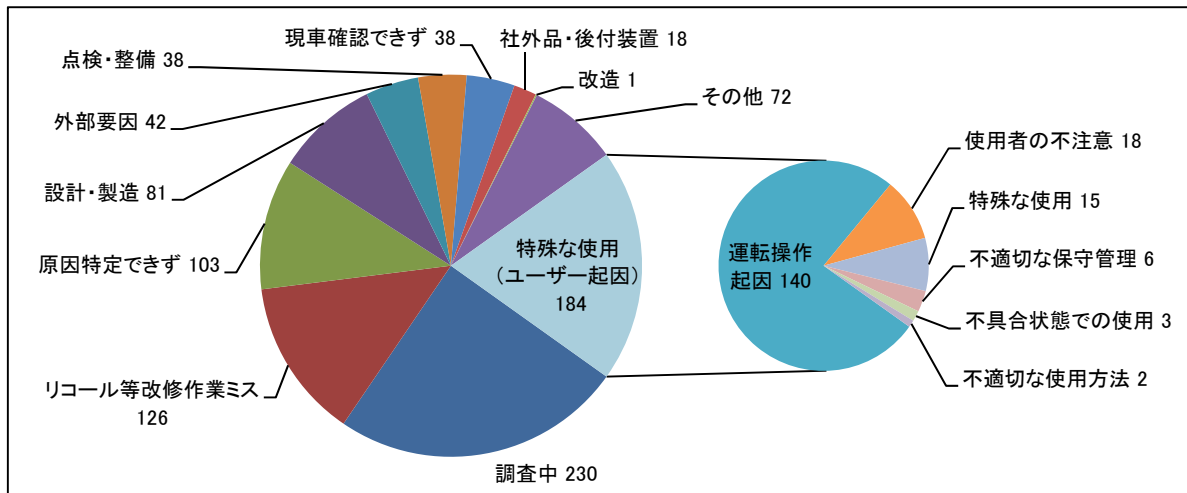
用途	件数
乗用車	364
貨物車	270
軽乗用車	119
特殊車	60
軽貨物車	36
特殊車	41
乗合車	21
原動機付自転車	13
二輪車	9
総計	933

[2] 装置別件数



装置名	件数
燃料装置	331
制動装置	153
動力伝達装置	140
原動機	99
その他の装置	82
操縦装置	63
走行装置	38
緩衝装置	27
総計	933

[3] 原因別件数

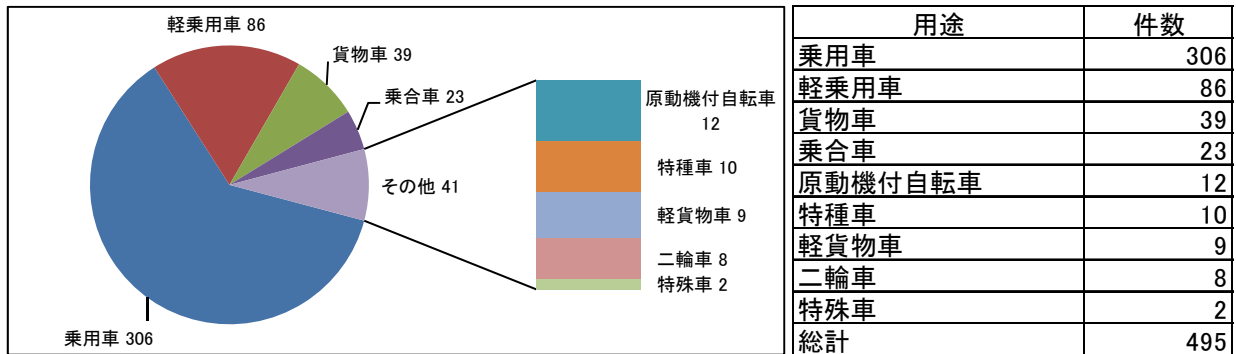


原因名		件数
調査中		230
リコール等改修作業ミス		126
原因特定できず		103
設計・製造		81
外部要因		42
現車確認できず		38
点検・整備		38
社外品・後付装置		18
改造		1
リコール等未改修		0
その他		72
特殊な使用	運転操作起因	140
	使用者の不注意	18
	特殊な使用	15
	不適切な保守管理	6
	不具合状態での使用	3
	不適切な使用方法	2
総計		933

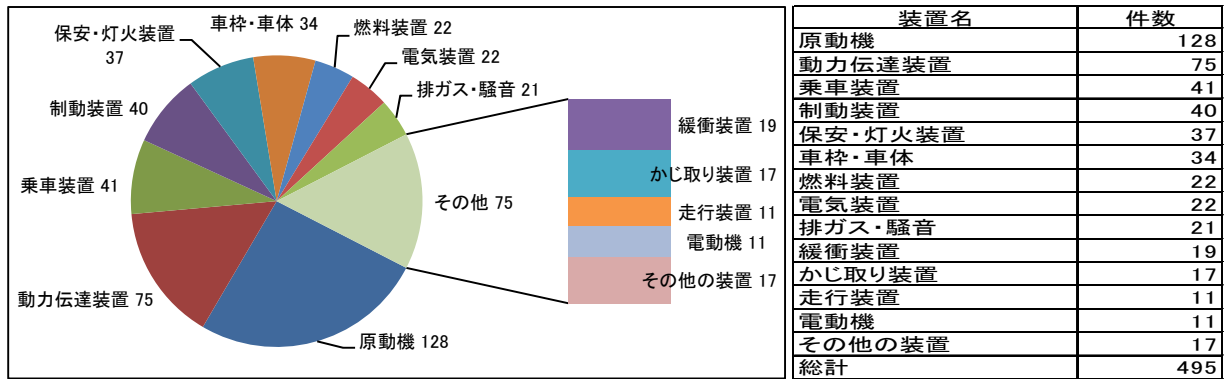
自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報

自動車不具合情報ホットラインへ寄せられた情報は 1, 258 件で、そのうち自動車製作者等の相談窓口との勘違いといった自動車の不具合以外の情報を除き、有効な自動車不具合情報の件数は 495 件でした。(各運輸局等への電話等による情報提供を含みます。)

[1] 用途別件数



[2] 装置別件数



[3] 事実確認の概要

自動車ユーザーからホットラインに寄せられた不具合情報のうち、多発性や重大性等を勘案して自動車製作者等に事実確認している場合もあります。

事実確認の結果、適切な使用や保守管理により防ぐことが可能と思われる事案は以下の通りでした。

運転操作に起因するもの	3 件
後付け部品の不良や不適切な取付けによるもの	1 件
ユーザーの不適切な保守管理によるもの	1 件
ユーザーの不注意によるもの	1 件
不具合状態での使用によるもの	1 件
特殊な使用によるもの	1 件

不具合情報のうちユーザーの注意喚起に資する情報

平成25年度第3四半期の不具合情報から、適切な使用や保守管理等に関してユーザーへの注意喚起に資すると考えられる事例について、以下のとおり情報提供します。

- ① 軽貨物車において、融雪剤等が長時間滞留したことにより腐食が進行し、腐食部へ応力が集中してリーフスプリングが折損した。
- ② 軽乗用車において、後席スライドドアを閉める際、誤って指を挟んでしまい怪我をした。
- ③ 二輪車において、エンジンオイルが不足している状態で使用し続けたため、エンジンが破損した。